**１５．　できることを紹介しよう（３）**

**～BINGO!!～**

○目的：タスクを通して、“Can you run fast? ” “Yes, I can. / No, I can’t.”を一人で使えるよ

うになる。

○対象：小学６年生

○時間：２０分

○準備：ビンゴシート、けん玉、お手玉

**このタスクの進め方**

○Pre-task

１． 児童にCan ができることを言っているのだと、イメージを持たせやすくするために、実際にけん玉やお手玉などを使いながら、教師による会話を導入する。

２．教師から教師へ、教師から児童へと質問を広げてゆく。

T: Can you play Kendama?

ALT: Yes, I can. (実際にやって、できることをアピールする。)

ALT: Can you play Otedama?

T: No, I can’t.（実際にやって、できないことをアピールする。）

○Task

１．ビンゴシートを配る。

２．ビンゴシートの内容を“Can you ~ ?”　と言いながら、発音練習をする。

３．ビンゴシートの自分のできるもの・できないものに、○・×を描く。

４．二人でじゃんけんをする。

５．勝ったほうが“Can you run fast?” と相手に尋ねる。

６．相手が“Yes, I can.” と答え、その答えが自分のビンゴシートの○と一致すれば、サインがもらえる。逆に、相手が“No, I can’t.” と答え、その答えが自分のビンゴシートの○と一致しなければ、サインはもらえない。

相手が“No, I can’t.” と答え、その答えが自分のビンゴシートの×と一致する場合、サインはもらえる。

|  |
| --- |
| A : Can you run fast? B : Yes, I can.  B : Can you dance? B : No, I can’t. |

７．ビンゴシートの縦・ななめ・横の一列のサインがそろえば、ビンゴとなる。ビンゴに

なっても、全部の欄にサインがもらえるよう、続ける。

８．席に戻って、ペアになり、友達のできること・できないことを紹介しあう。

|  |
| --- |
| A : Shuhei can jump rope. Takuya can’t eat natto.  B: Sakura can skate. Masaru can’t sing. |